

井田川小学校の

安心安全な学校生活を送るための取組 とは

11月28日(火)に学校保健委員会が開かれました。構成メンバーは、学校医の先生方、学校長、教頭、保健主事、養護教諭、栄養教諭、学校運営協議会委員です。安心安全な学校生活を送るための学校の取組について話し合いました。学校側から1年生の特別活動の授業、4年生の防災学習、6年生の人権学習、児童会の取組が報告され、学校医の先生方からお話を伺ったり皆で意見を交流したりしました。今回の紙面ではその内容をお伝えします。



1年生の授業、6年生の取組、児童会の取組については裏面で詳しく紹介しています

学校医の先生方より

薬剤師の
三田先生

「アルコールはインフルエンザウイルスには有効だが新型コロナウイルスには効かない。次亜塩素酸水はどちらのウイルスにも効果がある。校内の子どもたちがよく触るところの消毒をお願いしたい。」

歯科医の
久保田先生

「プライベートゾーンの一つである“口”は、食物などを取り込むところなので口腔内のケアを疎かにすると全身的な疾患につながる。次亜塩素酸系の物でうがいをすると口腔内の水素濃度が適切に保たれる。」

歯科医の
金原先生

「子どもたちには歯の健康を守るために①“歯は大切”という気持ちを持つ②歯に対する知識を持つ③歯を守るための技術（ブラッシングや食生活等）を身に付ける この3点を伝えたい。」

委員より

- ・ 子ども同士で「いやだ」と言うことはできると思うが、大人に対して言えるのだろうか、大きな声を出せるのだろうか。
- ・ 人権課題については自分も勉強していかないといけないと感じた。
- ・ 防災や人権について、子どもたちと一緒に考える機会があるとよいと思った。
- ・ SNS等で得た情報に取り込まれてしまう子もいる。みんなで話し合う場、自分とは違う考えがあるということを知る場を今後も作ってほしいと思う。
- ・ 大地震が起こった際、下校時など大人の目が無いところでどう行動したらよいか、子どもたちはイメージが湧かないと思う。何時にどこでどのような事をしている時に…と具体的にイメージをして自分の行動を考えられるような防災教育を今後も進めてほしいと思う。
- ・ いじめや人権課題をゼロにするのは難しいが、学校に来ることで元気になれるような環境を作ってほしいと思う。



1年生の取組

特別活動「たいせつなわたしのからだをまもろう」



まず、**プライベートゾーン**（性器、お尻、胸、口）について説明をし「自分のプライベートゾーンは見せない、触らせない。他の人のプライベートゾーンは見ようとしたり触ったりしない」と伝えました。そしてこれまでの日常での出来事を振り返ってもらい、友達の発表を聞いて「自分は軽い気持ちでしたことであってもされる側は嫌だと思っていたかもしれない」と気付くことができました。

さらに、嫌な事をする人から大切な自分の体を守るためにはどうしたらよいのかを話し合い、出てきた意見をまとめ次の3つを“やくそく”としました。

- ①「いや」「やめて」と大きな声で言う ②逃げる
③周りの人に話す、相談する

また“いいタッチ”と“悪いタッチ”

についても考え、相手がうれしい気持ちになるタッチはよいけれど、嫌な気持ちになるタッチはしないことを学びました。



6年生の取組 人権学習

LGBTQ+の人について取り上げ学習をしました。自分の性別について悩んでいる人は実際には7～8%いて、6年生でみるとクラスに1～2人いるかもしれないという話をし、そのような子たちが自分らしく過ごせて自分の思いを言えるためにはどうしたらよいかということを考えてもらいました。すると、子どもたちからは「**普段からコミュニケーションを取り小さな悩み事でも言えるようにしたい**」「**あなたを受け入れますよ、という感覚や関係性作りを大事にしていきたい**」という意見が出ました。

また、中部中学校区の人権フォーラムに各クラス3名ずつ参加して、Xジェンダーである渡部京李さんの講演を聴いたり他校の6年生や中学生、地域の方たちと交流したりしました。その後学年集会でフォーラムの報告を行いました。さらに、絵を見て男性か女性か考えたり、お弁当を作ったのは誰かを考えたりして“**思い込み**”や“**決めつけ**”ということに焦点を当てて学習を深めました。そして、無意識に差別をしていないかと振り返ったり、相手を傷つけないために自分はどの行動していったらよいかを考えたりしました。振り返りでは「〇〇であるべきと思い込んでいた」「**差別にフタをする**」という言葉が印象に残った」「障害がある人に対してゆっくり話そうと思った時点で決めつけて判断していた」といった記述がありました。

学年集会での
発表の様子



中部中学校区の
人権フォーラム
での様子



児童会の取組 ～『つながる』をテーマに～

子どもたちが話し合い後期児童会のテーマを『つながる』と設定しました。友達同士や地域の方々、先生たちとのつながりを大切にしていきたいという思いが込められています。11月の全校集会では、得意なことによる違い、体の違い、文化の違いなどを絵で提示して、これらの違いはあってよいかを○×クイズにしました。どの問題も答えはすべて○。違っていて当たり前ということを伝えることが目的でした。また、友達のことを知るために『**ピンクハート運動**』という取組も行いました。ピンク色の小さな紙に「名前」「得意なこと」「苦手なこと」を書いてハートの形になるように貼って掲示するというものです。全クラスで取り組みました。

